

## ● 新品種の開発

- 生食用に適した品種の開発
- 業務・加工に対応した品種の開発
- 次世代型品種開発の基盤研究
- 遺伝資源の収集・保存



促成用品種「栃木 i 27号」  
(平成24年品種登録申請)  
(商標名「スカイベリー」)



夏秋どり品種「なつおとめ」  
(平成23年品種登録)



観光用品種「とちひめ」  
(平成13年品種登録)



促成用品種「とちおとめ」  
(平成8年品種登録)



促成用品種「女峰」  
(昭和60年品種登録)

## ● 新技術の開発

- 高品質超多収生産技術の開発
- 省エネルギー生産技術の開発
- 鮮度・品質保持技術の開発
- 新品種の安定生産技術の確立



サーモグラフィー装置



軟らかさ測定装置



閉鎖型養液栽培システム

## ■ いちご研究所の紹介

全国唯一のいちご専門研究機関である「栃木県農業試験場いちご研究所」は、平成20年に旧栃木分場いちご研究室の機能を拡充強化して設立されました。

需要に即した新品種の開発や、新技術の開発機能をさらに強化するとともに、経営やマーケティングの調査分析機能を新たに加えました。

いちごの研究開発から生産、流通、消費に至るまで網羅した総合的な試験研究を進め、関係者と協力のもと「いちご王国とちぎ」の更なる進化と、いちご業界の発展を目指します。



## 研究所の組織体制

- 所長
- 企画調査担当  
(経営及び流通・消費等に関する調査分析)
- 開発研究室  
(新品種及び新技術の開発)

## ● 経営の調査分析

- 新品種や新技術導入の経営評価
- いちご経営モデルの策定
- 産地構造、産地動向の調査分析



いちご新規参入資料



経営調査

## ● 流通・消費の調査分析

- 新品種のマーケティング調査
- いちごの消費動向の調査分析
- 業務・加工用の需要動向調査



加工用いちご調査



消費ニーズ調査

## ● 研修・交流促進

- 産地向け技術研修会の開催
- 食品関連企業との交流連携
- 企業、大学等との共同研究促進



需要者による評価



いちご研究セミナー

## ● いちごの情報発信

- 展示コーナーの設置
- ホームページ等による情報提供



展示コーナー



研究所ホームページ